

開催日及び場所	令和3年12月7日(火) 防災対策室				
委員	高山 展保(新聞記者) 関口 和正(弁護士) 中井 真人(公認会計士)				
審議対象期間	令和3年 4月 1日～令和3年 6月30日(令和3年度第1四半期) 令和3年 7月 1日～令和3年 9月30日(令和3年度第2四半期)				
審議対象案件	契約数 414件 うち、1者応札案件 72件 (内変更契約数 156件) 契約の相手方が公益法人等の案件 2件				
	【審議抽出案件】 ①茨城中部農地整備事業 大串下大野団地整備その7工事 ②国営土地改良事業地区調査 天竜川下流二期地区事業計画検討その5業務 ③ 令和3年度デジタル複写機保守 (平成30年度導入コニカミノルタ製) ④令和3年度健康診断等業務 (東京都拠点)単価契約 ⑤令和3年度 実践技術研修 (ストックマネジメントコース)業務 抽出案件 5件 うち、1者応札案件 5件 (抽出率 1.2%) (抽出率 6.9%) 契約の相手方が公益法人等の案件 2件				
抽出案件内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件	
		指名競争	公募型指名競争	該当なし	
			工事希望型競争	該当なし	
			その他の指名競争	該当なし	
	随意契約	該当なし			
	業	一般競争	該当なし		
		指名競争	公募型競争	該当なし	
			簡易公募型競争	該当なし	
			その他の指名競争	該当なし	
		随意契約	公募型プロポーザル	該当なし	
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 0件
			標準型プロポーザル	該当なし	
	その他の随意契約		該当なし		
	物品・役務等	一般競争	3件	うち、1者応札案件 3件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件	
		指名競争	該当なし		
		随意契約(企画競争・公募)	該当なし		
随意契約(その他)		該当なし			
(特記事項)					

	意見・質問	回答等
委員からの意見・質問に対する回答等	<p>指名停止 株式会社ティ・ビー・エス</p> <p>●違約金は徴収したのか。</p>	<p>●徴収済みです。</p>
	<p>① 茨城中部農地整備事業大串下大野団地整備その7工事</p> <p>●他の4ブロックでもポンプをつけるのか。</p> <p>●ポンプは既製品では代替え出来ないのか。代替えで有れば技術者が不要にならないか。</p> <p>●他局でも同様にあきら(株)が落札しているのか。</p> <p>●あきら(株)がここを受注する前はどこかの団地のポンプを施工していたのか。</p> <p>●12者がダウンロードして、4者が仕様書などを取りに来たが、何故入札しないのか。</p> <p>●ポンプ工事の入札は1件となることが多いのか。</p> <p>●農家の負担にならない範囲で、ポンプを大きくするのが解決策ですね。</p>	<p>●他の4ブロックでもポンプをつけるが、農家の収入が無くならないよう、農閑期を利用して順番に工事を行っている。</p> <p>●ポンプは既製品を採用しているが、既製品でも据付に技術者が必要となる。</p> <p>●他にも小規模のポンプを扱える業者がいる、毎回あきら(株)に限定されると言う事では無い。</p> <p>●千葉県内で小型ポンプを施工して、その後この工事に入ったと聞いている。</p> <p>●資料収集は誰でもシステムで出来るが、5社についてはポンプ関係を扱えない業者であった。参加しなかった業者は情報収集も含めてのダウンロードの可能性が考えられる。</p> <p>●小規模なポンプは参加者が集まりにくい、大型の製作するポンプは売り上げが見込めるため、参加者が多くなる。</p> <p>●受益面積が限られている地域のため、仮に点在する団地毎のポンプをまとめても製作ポンプにはならない。</p>
	<p>② 国営土地改良事業地区調査天竜川下流二期地区事業計画検討その5業務</p> <p>●アンケートで人員の確保が困難とあるが定期的なものか。</p> <p>●簡易公募型プロポーザルは、技術提案を重視して随意契約の相手方を絞るのか。</p> <p>●金額よりも技術力を重視する評価の仕方か。</p> <p>●公表されている価格等で積算するのであれば100%とならないのは何故か。</p>	<p>●業者が他機関から発注されるいろいろな業務を見比べて、他の業務を選んだと思われる。</p> <p>●そうです。相手方を絞ってから随意契約をする。</p> <p>●技術力の高い業者でないと、この業務が履行出来ないと判断して、能力の有無を確認した。</p> <p>●旅費交通費などの丸めで端数処理が出るが、万一協議が成立しないリスクを避けるため、端数を切り捨てているのではと考えられる。</p>
<p>③ 令和3年度デジタル複写機保守（平成30年度導入コニカミノルタ製）</p> <p>●保守契約の毎年更新する入札か。</p> <p>●保守契約を出来るのが限定されているのであれば、毎年入札をする意味が無いのでは。</p> <p>●5年のリース契約をする際に、保守契約も含めないと意味が無い、会計契約上毎年契約しなければならぬと言うのはわかるが。</p>	<p>●そうです。</p> <p>●単価契約のため毎年入札をせざるを得ない。</p> <p>●制度上やむを得ない。</p>	

	意見・質問	回答等
	<p>④ 令和3年度健康診断等業務（東京都拠点）単価契約</p> <ul style="list-style-type: none"> ●この公益財団法人は医療機関を運営しているのか。 ●過去には愛世会の受託はあったか。 ●医療機関は忙しいため、入札者が強気でも良さそうと思うが、落札率が84.9%の要因は。 	<ul style="list-style-type: none"> ●その通り。 ●過去にも契約している。 ●提出された見積書の中で最低のものを勘案して採用しているが、見積もりより安く入札してきたため。
	<p>⑤ 令和3年度実践技術研修（ストックマネジメントコース）業務</p> <ul style="list-style-type: none"> ●想定外だったと言う理由は何か。 ●能力的にも問題なかったか。 ●見積もりを取った他の6者が降りた理由は。 ●2年度や元年度この研修の業務は有ったか。 	<ul style="list-style-type: none"> ●他の研修も含めてこれまで農業農村工学会は入って来なかった。 ●知識豊富な人材が揃っていて、技術的、能力的にも問題なかった。 ●この時期に実際に施設の診断をする業務を抱えていて、技術者が揃わないと聞いている。 ●過去は職員で処理していた。昨年度は発注し不調となったが、コロナで研修自体が中止となった。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容 なし</p> <p>[これに対し部局長が講じた措置の内容]</p>		

事務局：関東農政局総務部総務課

（注）公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。）をいう。